



みなみの風

あいさつ・つたえあい・チャレンジが自慢
～優しい言葉があふれる坂下南小学校～

「子育ての文化」を育む ～集団登校の様子から～



横断歩道の前で、副班長が先頭に立ち、渡る準備をします。



副班長が、慣れない1年生の前に立って渡ります。

班長は、横断歩道上で、旗を掲げ、班員が渡るのを見守ります。

登校班の班長や副班長としての役割はもちろんのこと、お兄さん・お姉さんとして下級生の面倒を見ながら歩く経験は、子ども達を成長させる機会の一つです。安全な登校に加え、上級生としての自覚を高めるために、横断歩道では、班長が班旗を掲げて立ち、副班長が列の先頭になって歩くよう指導しています。子ども達が交流する場を大切にしながら、年長者と年少者等が教え合い学び合いながらともに成長する文化（子育ての文化）を育てて参ります。



班長は、全員が無事渡ったことを確認すると、すぐに先頭に戻って歩きます。

副班長は、列の最後尾に戻り、班員を見守りながら歩きます。

働く南っ子 ～今(目の前のこと)に集中する姿がすばらしいです～



ボランティアで、玄関掃除をする6年生

朝登校すると、子ども達は、当番活動や委員会活動に取り組みます。6年生は、ボランティア活動で、校舎内の清掃をしています。委員会に所属する子ども達は、それぞれの場でしっかりと自分の役割を果たしています。また、清掃時には、全校生が一斉懸命校舎をきれいにしています。

このように、今やるべきことに集中して取り組めるところが、本校の子ども達のよいところです。

働く南っ子。素晴らしいです！



花植えの準備をする栽培委員会の子ども達



登校してくる友達に、明るくあいさつする生活委員会の子ども達



清掃時に、手洗い場を一生懸命磨く子ども達